産業廃棄物処理計画書

福岡市長 髙島 宗一郎 殿

提出者

住 所 福岡市東区原田1丁目1番21号 氏 名 コスモ建設株式会社 代表取締役 山﨑隆德 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-622-9110

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	コスモ建設株式会社
事	「業場の所在地	福岡市東区原田1丁目1番21号
計	一画期間	令和4年4月1日~令和5年3月31日
当該	事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	建設業
	②事業の規模	令和2年度の完成工事高 ¥708,702(千円)
	③従業員数	6人
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	1.産業廃棄物発生(現場) 2.運搬委託者にて搬出 3.処理委託者へ搬入 4.処理委託者に中間処理(または最終処分)を委託

産業	美廃棄物の処理に係る	る管理体制に関する事項						
	(管理体制図)							
		代表取締役						
		工事部長						
		各現場 作業所長						
産業	 廃棄物の排出の抑	制に関する事項						
		【前年度(令和3年度)実績】 別紙の通り						
		産業廃棄物の種類						
		排 出 量 t						
	①現状	(これまでに実施した取組)						
		過剰梱包を減らすよう努力する						
		【目標】別紙の通り						
		T T T T T T T T T T T T T T T T T T T						
		産業廃棄物の種類						
		排 出 量 t						
	②計画	(今後実施する予定の取組)						
		分別を徹底する。 梱包材の軽量化を依頼する。						
産業	<u> </u> 	L する事項						
		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)						
	①現状	確実なチェック体制の強化。						
		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)						
	②計画	今後も継続して分別を行う。						

自ら	う行う産業廃棄物の)再生利用に関する事項							
		【前年度(令和3年度)実績】別紙の通り							
		産業廃棄物の種類							
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	t	t					
		(これまでに実施した取組)							
		実施なし							
		【目標】別紙の通り							
		産業廃棄物の種類							
	②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t					
		(今後実施する予定の取組)							
		予定なし							
自ら	行う産業廃棄物の	中間処理に関する事項							
	【前年度(令和3年度)実績】								
	①現状	産業廃棄物の種類							
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t					
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t					
		(これまでに実施した取組)							
		実施なし							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類							
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t					
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t					
		(今後実施する予定の取組)							
		予定なし							
]	Ī.							

自ら	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
	【前年度(令和3年度)実績】								
		産業廃棄物の種類							
	①現状	自ら埋立処分 Zは 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t					
		(これまでに実施した! 実施なし	取組)						
		【目標】							
		産業廃棄物の種類							
	②計画	自ら埋立処分 又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t					
		(今後実施する予定の取組)							
		予定なし							
産業	l É廃棄物の処理の委言	<u></u> 毛に関する事項							
	【前年度(令和3年度)実績】別紙の通り								
		産業廃棄物の種類							
	①現状	全処理委託量	t	t					
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t					
		再生利用業者への 処理委託量	t	t					
		認定熱回収業者 への処理委託量	t	t					
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t					
		(これまでに実施した取組)							
		しているか確認する。							
		連正に処力が済んでいる。	かマニフェストを確認する。						
	l								

(第5面)

		【目標】							
		産業廃棄物の種類							
		全処理委託量	t	t					
		優良認定処理業者 への処理委託量	t	t					
		再生利用業者への 処理委託量	t	t					
		認定熱回収業者 への処理委託量	t	t					
	②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t					
		(今後実施する予定の取組) 事前に契約書を交わしマニフェストにて適正処理されているか確認する。							
		また、可能な限り優良認定業者から選定する。							
※事務処理欄									

備考

前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

当該年度の6月30日までに提出すること。

「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。

「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。

※欄は記入しないこと。

産業廃 第	医物処理計画書(第2面~第5面)別	紙										単位:	トン (t)
					産	業 廃	棄物	の種り	領				
①現状	【前年度(令和3年度)実績】	廃油	類廃 プ ラ ス	紙 く ず	木 く ず	金属くず	及 び り り く	廃石膏ボ	が れ き 類	らコンクリ	らアスファ	理型含な	排 出 量
②計画	ī【目標】		ヘチッ ク			-9	War へず おくず ずず	ボード	類	り ト が	ルトが	3) 物 (管	合計
産業廃棄	物の排出の抑制に関する事項												
①現状	排出量	1. 26	16. 73	1.95	137. 995	3. 39	16. 5	79	25. 456	906. 944	129.056	5.46	1323. 741
②計画	排出量	1	15	1	100	3	15	70	25	900	120	5	1255
自ら行う	産業廃棄物の再生利用に関する事項												
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量												0
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量												0
	産業廃棄物の中間処理に関する事項												
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量												0
0 3471	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量												0
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量												0
9 11 11	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量												0
自ら行う	産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関	する事項											
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量												0
金川四	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量												0
産業廃棄	あの処理の委託に関する事項		1										
	全処理委託量	1. 26	16. 73	1. 95	137. 995	3. 39	16. 5	79	25. 456	906. 944	129.056	5. 46	1323. 741
	優良認定処理業者への処理委託量	1. 26	16. 73	1.95		3. 39	16. 5	79				5.46	124. 29
①現状	再生利用業者への処理委託量				137. 995					906. 944	129.056		1173. 995
	認定熱回収業者への処理委託量												0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量												0
	全処理委託量	1	15	1	100	3	15	70	25	900	120	5	1255
	優良認定処理業者への処理委託量	1	15	1	30	3	15	70	25	200	20	5	385
②計画	再生利用業者への処理委託量				100					900	120		1120
	認定熱回収業者への処理委託量												0
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量												0

産業廃棄物処理計画書	(第2面~第5面)	別紙

単位:トン(t) 業廃 棄物の種 ラ石ス綿 類綿)含 油 石綿 出 ①現状【前年度(令和3年度)実績】 へ 辞含 ツ 有 量 有 合 ②計画【目標】 がが 計 類廃プ 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 ①現状 排出量 1. 225 1.2 11.75 19.175 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 ①現状 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 0 ②計画 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 0 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 ①現状 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 0 ②計画 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 0 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った ①現状 産業廃棄物の量 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う ②計画 産業盛棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 全処理委託量 1.225 1.2 11.7519.175 優良認定処理業者への処理委託量 1.225 1.2 11.75 19.175 再生利用業者への処理委託量 0 ①現状 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量 全処理委託量 5 10 17 5 優良認定処理業者への処理委託量 10 17 再生利用業者への処理委託量 0 ②計画 認定熱回収業者への処理委託量 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量